

【意見】

今年2度ほどJアラートが携帯やスマートフォン、テレビやラジオなどで流れましたが、沼田市ではサイレン等が鳴らないので屋外にいる人では知らない人もいました。

2度とも早朝でしたが、子どもの登下校時にJアラートが鳴る事態が起きた場合、携帯電話を持っていない子どもたちはそれを知ること避難することもできません。

最近では市内で熊の出没しており、そのような時でも有効だと思うのでサイレンなどの設備を見直していただけないでしょうか。

女性40代：市内在住

【回答】

市役所屋上に設置されているサイレンは、利根沼田広域消防署の通信司令室へ依頼をし有事の際や正午のサイレンとして吹鳴をしていました。

しかしながら、消防救急無線のデジタル化に伴うほか、119番の受信能力向上や効率的運用の面から、平成28年度より6つの広域消防と共同で消防指令業務を行う、たかさき消防共同指令センターへの統一が行われたため、現在は吹鳴をしておりません。

また、火災等の情報は、たかさき消防共同指令センターより消防団員及びホッとメールぬまたへ登録された方々へのメール送信で情報伝達を行っております。

Jアラートシステムは、人の手を介さず国からの情報を伝達するシステムですが、沼田市においては、防災行政無線や緊急告知FMラジオにより、昼夜を問わず自動的に放送されることとなっております。

ただし、市役所屋上のサイレンについては、音声や文字での情報伝達と違いサイレン音だけでは情報が不確実となるため連動はしておりません。

なお、旧沼田市においては、防災行政無線が未整備となっていることから、緊急告知FMラジオを希望者に無償貸与する計画を現在進めております。

最後に、熊の出没等の情報については、ホッとメールぬまたにより、メール送信させていただいております。

このように、緊急時等へ情報伝達方法を整備しておりますので、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

担当：総務部防災対策課防災係